

山行報告

個人山行

関西百名山 三十三間山 (842m)

(福井・滋賀県の県境) 累計高度差=750m

○日時 2013年9月21日(土)

○集合 松井が丘・6:30

○参加者 5名(熊沢敬一、中谷緒和子、谷川琴美、谷川裕美、石橋伸一・会員は下線の2名)

○交通 自家用車(カローラ・フィルダー)

○行程

往路 松井が丘==湖西道路(161号線)=近江今津=303号線==27号線==倉見登山口
6:50 9:15

○倉見登山口・・・林道登山口・・・夫婦松・・・風神・・・三十三間山・山頂直下の草原丘・
9:30 休 10:40 11:20 11:45 11:55 昼食 12:35
▲100m ▲260m 休 休▲690m ▲842m 大展望

・風神・・・ろくろ山へ続く草稜へ・・・風神・・・夫婦松・・・倉見登山口

片道 約30分 休13:15 休13:45 15:00

○倉見登山口==三方五湖==レインボーライン(入口通行止め)==往路と同じコース
15:15 入口の売店 16:00

==松井が丘

19:45

山行報告

台風18号(9月15~16日)の影響が往路から始まる登山となった。国道367号線を北上する予定が、朽木付近で落石のため通行止めの表示。湖西道路(161号線)を近江今津まで行って303号線から27号線へ、367号線の迂回道となっていたのか湖西道路は渋滞。それでも何とか30分遅れて倉見登山口到着。立派な駐車場とトイレだがトイレは使用禁止のテープ、入念な準備体操後9:30出発。まずは川に沿った立派な杉木立の中の林道歩き、足元のマツカゼソウを見ながら歩くこと約30分、傾斜が始まる道に入った所から台風被害の跡。道が濁流に削られ石ころと流木がむき出しに、地下に埋められていた水を引くパイプも途中で切断されたり地表に浮いたり、抉り取られた道の礫の上を歩くのが大変だった。ただ杉木立はかなり整備され、この山の名称・三十三間堂へ材木を伐り出した伝承の名残が伺える。沢から離れ尾根への登山道に入ると台風の影響はなくなったが急登の連続、残暑の中汗だくで夫婦松跡到着、この辺から展望も木々の間からチョップリ。そして風神を過ぎるとすぐ草稜、道を塞ぐような草を押し開け進むと大展望の芝生の丘。目の前に三十三間山。予定より30分遅れて登り始めたのに、山頂には予定より1時間も早く到着。山と溪谷社の関西百名山案内地図の時間はどうみてもゆっくりし過ぎ。山頂は樹林の中で展望がないので、先ほどの芝生の丘へ。遮るもののない大展望のなかで昼食、快晴の下日陰のない広場だったが海拔800mそう暑さも感じない。三方五湖から若狭湾、谷間に広がる集落群、遠く西方に青葉山、谷間を挟んで東の尾根は高島トレイルの山々、見事に見える。周辺の木々と草むらの間にトリカブトの群落も。時間に余裕ができたので風神から南の尾根伝いに続く草稜歩きでロクロ山を目指すことにしたが、ここでハプニング、分岐の入口に通行禁止のロープ、地図にははっきりと縦走路として書いてあるし、ロクロ山から見る三十三間山の写真まで載っているのに。尾根伝いに行先が見えているのでロープを潜って侵入?ところが最近人が入った形跡もなく、快適な草稜歩きどころか、木立が生え絡み合い、草も生い茂りかすかに道跡が残る、まるでヤブコギの状態、もうとても歩ける状態ではないと判断。約30分ほどで引き返す。

(風神~ロクロ山廃道確認) 私としては一番期待していた草稜の尾根歩きだったが残念でした。降りと同じ道を下り、予定より大幅に早く下山できたので、山頂からみた三方五湖に足を延ばすも、またまた台風被害・レインボーライン入口で通行止め。三方五湖からの三十三間山展望もできず、帰りは再び大渋滞の中、松井が丘帰着は19:45でした。(報告・石橋)